

林業の仕事、現場で学び深まる興味

◎愛治・日吉小学校 森林教室



9月13日、日吉農林公社が間伐作業を行っている畔屋の山林で、愛治・日吉小学校合同の「森林教室」が行われました。

教室では、日吉農林公社の職員が、チェーンソーを使って立木を伐採・枝打ち・玉切りする様子や、高性能機械を使った作業の様子を見学。その後、児童たちはのこぎりを手にして、手作業での枝打ちを体験し、林業の大変さを身を持って体感しました。

50～60年間生きてきた大きな木を切り倒す迫りに、現場では驚きの喚声が上がっていました。

秋の実りに感謝の気持ちを込めて

◎泉小学校ぶどう収穫祭



9月7日、泉小学校の秋の恒例行事である「ぶどう収穫祭」が行われました。

今回で28年目となる、泉小学校の歴史あるぶどう栽培。今年も鬼北農業指導班のサポートを受けながら、剪定・摘房・摘粒・ジベレリン処理など、5・6年生が中心となり一房一房丁寧にお世話を続けてきました。

児童たちは、甘い香りが広がるハウスの中で、たわわに実った約180房のぶどうに目を輝かせながら、大事そうに収穫していました。

スポーツ交流で、地域を元気に

◎日吉地区別レクバレー大会



9月25日、農林業者トレーニングセンターで「日吉地区別レクバレー大会」が開催されました。

日吉公民館の分館対抗戦として、コロナ禍の間も中止せずに行われてきたレクバレー大会。今年は全5分館のうち、3分館4チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

コロナ禍になる前のような規模での開催は、まだまだ難しい状況にある地域の行事。参加者たちは、地域の人同士が寄り合って交流する大切さを思いながら、気持ちの良い汗を流していました。

交通死亡事故ゼロの継続を目指して

◎秋の全国交通安全運動車両パレード出発式



9月21日、近永公民館前駐車場で「交通安全車両パレード出発式」が行われ、宇和島警察署や鬼北交番の署員、鬼北交通安全協会の会員などが参加しました。

出発式終了後には、交通安全の旗を掲げた車両とパトカーが町内を巡回し、交通事故防止を呼びかけました。

夕暮れの時間が早まるこれからの季節。歩行者は「明るい服装・反射材・ライト」の活用を、運転者は「こまめに前照灯を切り替える」などして、交通事故防止に努めましょう。